

《報告》

保育所と幼稚園における発達障害がある子ども・  
「気になる子」の状況について

中島 正夫

榎山女学園大学看護学部

要 旨

【目的】発達障害がある子どもと「気になる子（発達障害と診断されてはいないが、会話が成立しにくい、落ち着きがない、こだわりがあるなどの特性がある子ども）」に関する保育所と幼稚園での状況について比較検討することにより、保育者の早期の気づきと対応の向上に資することである。【方法】A市の保育所と幼稚園の施設長を対象として、発達障害があると診断されている子どもと「気になる子」の状況を調査した。【結果】幼稚園での診断例や「気になる子」の受入割合が保育所に比べて少ないこと、保育所と幼稚園で保育者が気になる特性に一部違いがあることが明らかになった。【結論】保育所・幼稚園での発達障害がある子ども・「気になる子」の受け入れや早期の気づきと対応の充実が図られるよう、保育者の知識・技術の向上や人件費補助の拡充が求められる。

キーワード：発達障害, 気になる子, 保育所, 幼稚園, 保育者